

技術・家庭 (家庭分野)

技術・家庭（家庭分野）の目標について
<p>【教科の目標】 生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。</p> <p>(3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。</p>
<p>【学年・分野・領域等の目標など】 [家庭分野の目標] 生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。</p> <p>(3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。</p>

【参考】

○ 目標の改善

教科目標及び分野目標については、今回の改訂の基本方針を踏まえ、育成を目指す資質・能力を三つの柱により明確にし、全体に関わる目標を柱書として示すとともに、(1)として「知識及び技能」を、(2)として「思考力、判断力、表現力等」を、(3)として「学びに向かう力、人間性等」の目標を示す。

また、(1)から(3)までに示す資質・能力の育成を目指すに当たり、質の高い深い学びを実現するために、技術・家庭科の特質に応じた物事を捉える視点や考え方（見方・考え方）を働かせることを示す。

○ 標準授業時数

第1学年－70単位時間 第2学年－70単位時間 第3学年－35単位時間

様式 2

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	2・東書	第1・2・3学年 家庭分野	家庭・701	新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して
取扱内容 各学年の目標、内容等 学習指導要領の総則及び各教科、 内容の構成・排列	<p>○ 家庭分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「A家族・家庭生活」において、家族・家庭生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、家族・家庭や地域についての課題を解決する力を養うよう、相手の立場や役割を自分に置き換えて考える活動や、高齢者との関わり方を体験する活動 ・「B衣食住の生活」において、食生活、衣生活、住生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、衣食住の生活についての課題を解決する力を養うよう、バランスのよい献立を考える活動や、資源や環境に配慮した「エプロン」や「ペットボトルカバー」などを製作する活動 ・「C消費生活・環境」において、消費生活・環境に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、身近な消費生活と環境についての課題を解決する力を養うよう、クレジットカードの三者間契約について理解を深める活動や、消費行動が環境に与える影響を考える活動 <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「責任ある消費者になるために」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、SDGsを取り上げ、自分や家族の消費行動が社会に与える影響を話し合うなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。</p> <p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3学年間の学習の見通しを立てさせるため巻頭にガイダンス的な内容を位置付けるとともに、「私たちの生活と家族・家庭の機能」で基礎的・基本的な知識及び技能を身に付ける学習を行った後に、「地域での協働を目指して」で中学生として地域の人々との関わり方について学習するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 ・「A家族・家庭生活」と「B衣食住の生活」の関連を図り、幼児のためのおやつを考えたり、「A家族・家庭生活」と「C消費生活・環境」の関連を図り、家電製品の購入計画について話し合ったりするなど、これまでの学習で身に付けた知識及び技能を生かすことができるような工夫 			
使用上の配慮等	<p>○ 「環境」「防災」「伝統文化」などのマークや「プロに聞く」「せいかつメモ」などを掲載したり、中学生キャラクターや学習案内キャラクターを活用したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 学習のまとめりごとに振り返る「まとめよう」や、学んだことを実生活につなげる「生活に生かそう」を位置付けるなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 幼児の使う小物や食品の概量などの実物大写真を掲載したり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、「Dマーク」(QRコード)を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
その他	<p>※ 中学校用教科書目録(令和3年度使用 文部科学省)による</p> <p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>			

様式 2

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	6・教図	第1・2・3学年 家庭分野	家庭・702	New技術・家庭 家庭分野 くらしを創造する
取扱内容 各学年の目標、内容等 学習指導要領の総則及び各教科、 内容の構成・排列	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・「A家族・家庭生活」において、家族・家庭生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、家族・家庭や地域についての課題を解決する力を養うよう、家族の役を演じ、家族とのかかわり方について考える活動や、高齢者の疑似体験をする活動 ・「B衣食住の生活」において、食生活、衣生活、住生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、衣食住の生活についての課題を解決する力を養うよう、中学生の1日分の献立を考える活動や、自然災害に備えた安全な住まいの整え方を考える活動 ・「C消費生活・環境」において、消費生活・環境に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、身近な消費生活と環境についての課題を解決する力を養うよう、クレジットカードによる買い物の仕組みについて理解を深める活動や、消費生活が環境に及ぼす影響を考える活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「私たちの消費生活」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、SDGsを取り上げ、普段の生活において特に重要だと思ふ目標を考え、グループで話し合うなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 <ul style="list-style-type: none"> ・3学年間の学習の見通しを立てさせるため巻頭にガイダンス的な内容を位置付けるとともに、「家族・家庭の基本的な働き」で基礎的・基本的な知識及び技能を身に付ける学習を行った後に、「地域の人々との協働のために」で地域の人々と協働する方法について学習するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 ・「A家族・家庭生活」と「B衣食住の生活」の関連を図り、幼児のおやつを工夫したり、「A家族・家庭生活」と「C消費生活・環境」の関連を図り、新生活で必要な家電製品等についてレポートにまとめたりするなど、これまでの学習で身に付けた知識及び技能を生かすことができるような工夫 			
使用上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「環境」「防災」「伝統文化」などのマークや「センパイに聞こう」「メッセージ」などを掲載したり、中学生キャラクターや教師キャラクターを活用したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 学習のまとめりごとに自己評価する「ふり返る」や、学んだことを実生活につなげる「学びを生かそう」を位置付けるなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 新生児の手形や身近な食品などの実物大写真を掲載したり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、QRコードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。 			
その他	<ul style="list-style-type: none"> ※ 中学校用教科書目録（令和3年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。 			

様式 2

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	9・開隆堂	第1・2・3学年 家庭分野	家庭・703	技術・家庭 家庭分野 生活の土台 自立と共生
取扱内容 各学年の目標、内容等 学習指導要領の総則及び各教科、 内容の構成・排列	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・「A家族・家庭生活」において、家族・家庭生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、家族・家庭や地域についての課題を解決する力を養うよう、ロールプレイングを通して、家族の気持ちや立場を考える活動や、高齢者の歩行介助を体験する活動 ・「B衣食住の生活」において、食生活、衣生活、住生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、衣食住の生活についての課題を解決する力を養うよう、栄養のバランスのとれた1日分の献立を考える活動や、資源や環境に配慮した「リバーシブルバッグ」や「クッションカバー」などを製作する活動 ・「C消費生活・環境」において、消費生活・環境に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、身近な消費生活と環境についての課題を解決する力を養うよう、クレジットカードの三者間契約のメリットやデメリットについて理解を深める活動や、消費者の行動が社会や環境に与える影響を考える活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「持続可能な社会」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、SDGsを取り上げ、自分たちがどのような取組ができるか話し合うなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 <ul style="list-style-type: none"> ・3学年間の学習の見通しを立てさせるため巻頭にガイダンス的な内容を位置付けるとともに、「わたしの生活と家族・家庭」で基礎的・基本的な知識及び技能を身に付ける学習を行った後に、「家庭生活と地域での活動」で家庭生活と地域との相互の関わり方について学習するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 ・「A家族・家庭生活」と「B衣食住の生活」の関連を図り、祖父母が喜ぶ食事を考えたり、「A家族・家庭生活」と「C消費生活・環境」の関連を図り、新しい電化製品を購入するために、それぞれの特徴を比較しまとめたりするなど、これまでの学習で身に付けた知識及び技能を生かすことができるような工夫 			
使用上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「環境」「防災」「伝統文化」などのマークや「先輩からのエール」「豆知識」などを掲載したり、中学生キャラクターや学習案内キャラクターを活用したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 学習のまとめりごとに基礎・基本の定着を図る「ふり返し」や、学んだことを実生活につなげる「生活にいかそう」を位置付けるなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 子どもの手形・足形や食品などの実物大写真を掲載したり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、QRコードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。 			
その他	<ul style="list-style-type: none"> ※ 中学校用教科書目録（令和3年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。 			

＜技術・家庭（家庭分野）の具体的な調査項目＞

◎調査研究の対象とした事項

- ① 3つの内容「A家族・家庭生活」「B衣食住の生活」「C消費生活・環境」のページ数
- ② 北海道とかかわりのある内容を取り上げている資料等のページ数
- ③ 実習・実験の指導における安全と衛生に関する箇所数

◎調査対象項目にした理由

- ① 3つの内容「A家族・家庭生活」「B衣食住の生活」「C消費生活・環境」をバランスよく学習することが求められていることから、全体としての分量について把握する必要があるため。
- ② 生徒の興味・関心を生かした学習が促されるよう工夫することが求められていることから、北海道にかかわりのある内容の掲載の状況について把握する必要があるため。
- ③ 実習・実験などの実験的・体験的な学習に当たっては、安全に十分留意することが求められていることから、安全と衛生への配慮について把握する必要があるため。

様式 4

※調査項目が網掛けになっている項目は、様式 5 にデータを掲載していることを示す。

調査項目		発行者	東書	教図	開隆堂	
①	「A 家族・家庭生活」「B 衣食住の生活」「C 消費生活・環境」のページ数	A 家族・家庭生活	ページ数	35	60	53
			全体に占める割合	12%	20%	18%
		B 衣食住の生活	ページ数	40	165	149
			全体に占める割合	14%	56%	50%
		C 消費生活・環境	ページ数	28	43	33
			全体に占める割合	10%	15%	11%
		A 家族・家庭生活 B 衣食住の生活 C 消費生活・環境 (※1)	ページ数	11	10	37
			全体に占める割合	4%	3%	12%
		A 家族・家庭生活 C 消費生活・環境	ページ数	36	0	2
			全体に占める割合	12%	0%	1%
		B 衣食住の生活 C 消費生活・環境	ページ数	124	0	6
			全体に占める割合	43%	0%	2%
		その他 (※2)	ページ数	17	17	19
			全体に占める割合	5%	6%	6%
		総ページ数			291	295
前回の総ページ数			279	286	278	
増減			5%	3%	8%	
②	北海道とかかわりのある内容を取り上げている資料等のページ数		8	5	8	
③	実習・実験の指導における安全と衛生に関する箇所数 (※3)		14	32	33	

※ 「総ページ数」は、教科書に記載されている最終ページ数とする。

(※1) 調査項目「ABC」、「AC」、「BC」については、編修趣意書に基づくものとする。

(※2) 「その他」は、巻末資料等とする。

(※3) 調査項目③の「実習・実験の指導における安全と衛生に関する箇所数」については、「安全」及び「衛生」マークを対象とする。

様式 5

様式 4 の調査項目② [北海道とかかわりのある内容] の具体的な内容

	内容	単元及び教材名 (該当ページ)	取扱い方	タイトル・主な内容
東 書	A C	子どもにとっての家族 (P252)	図	乳幼児のための社会施設の例 (札幌市子育て支援総合センター)
	B C	日本の食文化と和食の調理 (P91)	資料	地域の食材 (利尻昆布)
		日本の食文化と和食の調理 (P93)	資料	全国各地の雑煮の特徴 (北海道と沖縄は各家庭によって差が大きいため、分類していない。)
		日本の食文化と和食の調理 (P95)	資料	日本各地の郷土料理 (石狩鍋)
		日本の衣文化 (P113)	資料	地域に伝わる衣の文化の例 (アットウシ)
		住まいと気候風土の関わり (P166)	資料	日本各地の住まいの例 (北海道)
		住まいと気候風土の関わり (P167)	資料	日本各地の住まいの例 (北海道)
	災害への対策 (P174)	文章	せいかつメモ (洞爺丸台風)	
教 図	B	地域の食文化を知ろう (P150)	図	地域の食材の例 (米 ななつぼし 北海道)
		地域の食文化を知ろう (P151)	図	地域の食材の例 (魚介類: さけ、さんま、いか、かに 北海道)
		地域の食文化を知ろう (P153)	図	全国各地のおもな郷土料理 (石狩なべ)
		和食の調理をしてみよう (P156)	写真	地域の食材を用いた和食の調理をしてみよう (三平汁)
		私たちの住生活 (P213)	写真	日本各地の住まいの例 (北海道 三角屋根)
開 隆 堂	B	こんなにおいしい魚の調理 (P123)	資料	日本周辺でとれる魚などの利用 (稚内: ホッケ、羅臼: サケ類、小樽: ホッケ、根室: サンマ・タラ類、釧路: タラ類・サンマ)
		好きになる野菜の調理 (P131)	資料	各地で生産されている野菜など (たまねぎ、トマト、じゃがいも、だいこん、にんじん、ごぼう) 北海道の地図中に図示
			写真	伝統野菜の例 (札幌黄)
		地域の食文化 (P141)	図	一尾の魚からつくられる郷土料理(さけの例)
			文章	めふん (アイヌ語でじん臓)
		地域の食文化 (P143)	写真	ちゃんちゃん焼き 北海道
		住まいのはたらき (P209)	図	地域による住まいの特徴 (札幌市)
	災害への備え (P218)	図	雪害 (北海道)	
	その他 (巻末資料)	伝統分野を受けつぎ、生活にいかす (P283)	写真	アットウシ織 (北海道)
	ABC	災害から「いのちと生活」を守るために (P294)	図	日本で起きている災害 (有珠山噴火、釧路沖地震、北海道胆振東部地震、北海道南西沖地震、北海道十勝沖地震)